

科目名	スタイリング演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	大橋マリ/大岩未来
【科目の到達目標】 スタイリストの仕事の役割・内容を理解し、現場において即戦力になる知識、技術を習得。 スタジオ撮影・ロケーション撮影での技術、ファッションショーの運営能力を習得。 自分でスタイリングを考え、センスを磨く。			
【科目の概要】 スタイリング→プレゼンテーション→物集め→撮影(ショー)といった実際現場にあう授業形態でスタイリストの仕事を理解する。 テーマ決め、スタイリング、モデル選び、ヘアメイク、演出まで一連の流れを学び、実際に撮影、ショーを行うことにより、実践力を身につけさせる。			
【授業計画】			
90分/コマ	前期	後期	
1 2	スタイリスト概論	31 32	広告スタイリング 撮影
3 4	スタジオワーク・スタイリングテクニック	33 34	広告スタイリング講評 裾上げ ウエスト詰め
5 6	パーソナルカラー・アイロン実習	35 36	AWトレンドショー ラフ画最終チェック
7 8	国別コーディネート ラフ画	37 38	AWトレンドショー スタイリングチェック
9 10	国別コーディネート スタイリングチェック	39 40	AWトレンドショー 実物審査
11 12	国別コーディネート 撮影(フォト科コラボ)	41 42	AWトレンドショー スタイリング最終チェック
13 14	国別コーディネート 撮影(フォト科コラボ)	43 44	AWトレンドショー プレリハーサル
15 16	浴衣スタイリングプレゼン 着付けレッスン	45 46	AWトレンドショー リハーサル
17 18	浴衣祭り スタイリングチェック	47 48	AWトレンドショー 本番
19 20	浴衣祭り スタイリング最終チェック	49 50	AWトレンドショー 本番
21 22	浴衣祭りショー本番	51 52	AWトレンドショー総評 ロケ撮影(フォト科コラボ)
23	浴衣祭りショー本番スタジオ撮影(フォト科コラボ)	53 54	雑誌スタイリング 分析 スタイリング提案
24 25	ファッションショーフィッティングレクチャー	55 56	雑誌スタイリング スタイリングチェック
26 27	裾上げ 広告スタイリング ラフ画	57 58	雑誌スタイリング スタジオ撮影
29 30	広告スタイリング スタイリングチェック	59 60	雑誌スタイリング プレゼン / 修業テスト
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 各種プリント			

科目名	スタイリングデザイン I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	120	作成者	樂愛実

【科目の到達目標】

コンセプトをかみ砕き、イメージを形にするデザイン思考の能力を高める。
 人体のプロポーションの理解とアイテム画、スタイル画の描き方とテクニックを習得する。

【科目の概要】

デザイン思考のプロセスを学び、イメージを形にするためのトレーニングを行いスタイリングの提案能力を高める。スタイリストに必要なアイデアやコンセプトをスタイル画に表現するためのテクニックを習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1 2	導入 / コラージュ	28 29 海外のファッション研究
3 4	コラージュ発表	30 31 A/Wトレンド 解説・研究 ディテールマスター選手権
5 6	ドローイング(ヌードボディ)	32 33 A/Wトレンド スタイリング考案 8つのトレンド感性 I
7 8	ドローイング(着画)	34 スタイリスト特別セミナー
9 10	ドローイング(顔、髪) 外部イベント コンセプト	35 36 A/Wトレンド ラフ画チェック 8つのトレンド感性 II
11 12	ドローイング(着色) 外部イベント 個人デザイン立案	37 38 外部イベント フィッティング & リハーサル
13 14	ドローイング(ディテール①) 外部イベント チームデザイン立案	39 40 A/Wトレンド ディスカッション
15 16	ドローイング(ディテール②) 外部イベント チームディスカッション	41 42 外部イベント 本番
17 18	ドローイング(ディテール③) ゆかたスタイリング 打ち合わせ	43 44 アート・美術の知識
19 20	ドローイング(ディテール④) シルエットとライン	45 46 ファッションと音楽の関係性
21 22	ゆかたスタイリング コンテスト準備	47 48 A/Wトレンドショー 練習
23	前期修業テスト	49 50 A/Wトレンドショー 最終打ち合わせ
24 25	クリエイティブワーク I	51 52 外部アシスタントセミナー ショー フィードバック
26 27	クリエイティブワーク II	53 54 ファッションデザインのもと I (エレガントとスポーティ) 55 56 ファッションデザインのもと II (フォークロアとモダン) 57 58 アパレル業界の現状 S/Sトレンドリサーチ 59 60 後期修業テスト

【成績評価方法】

実践の評価60%、期末試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

「ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方」「スタイリングブック」グラフィック社

「ファッションマーケティング」ファッション教育社

【教材・教具】

ドローイング&着色道具 のり はさみ ケント紙 ファッション雑誌 WWD

教科名	スタイリング造形 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース年		昼間
学年	1	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	120	作成者	ホウーシャ瑠伊

【授業の到達目標】

洋服の構造を理解し、ファッションビジネスにおける洋服の製作工程を把握する。

【授業概要】

将来的にスタイリストを含むアパレル商品を扱う職に就く為に、洋服の扱い方やアイロンの当て方や「リメイク」に必要な知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	導入/ミシン練習		31・32 ブラウス製作Ⅴ/上安祭りメイク
3・4	ミシン・アイロンの説明(講習会)		33・34 ブラウス製作Ⅵ/上安祭りメイク
5・6	手縫いの基礎Ⅰ		35・36 ブラウス製作Ⅶ/上安祭りメイク
7・8	手縫いの基礎Ⅱ		37・38 ブラウス製作Ⅷ
9・10	生地屋リサーチ		39・40 ブラウス完成/発表
11・12	付け襟製作Ⅰ		41・42 ブラウス発表/スカート製作Ⅰトレース
13・14	付け襟製作Ⅱ		43・44 スカート製作Ⅱ/生地裁断
15・16	付け襟製作Ⅲ		45・46 スカート製作Ⅲ/表地作り
17・18	ブラウス研究Ⅰ/分解		47・48 スカート製作Ⅳ/裏地作り
19・20	ブラウス研究Ⅱ/組み立て		49・50 スカート製作Ⅴ/ファスナー付け
21・22	ブラウス研究Ⅲ/発表		51・52 スカート製作Ⅵ/裏地合わせ
23・24	ブラウス製作Ⅰトレース/裁断		53・54 スカート製作Ⅶ/ベルト付け
25・26	ブラウス製作Ⅱ		55・56 スカート製作Ⅷ/仕上げ
27・28	ブラウス製作Ⅲ/身頃ポケット		57・58 スカート発表/提出
29・30	ブラウス製作Ⅳ/見返し付け		59・60 修業テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子「立体式洋裁」服飾手帖社 改訂版
「シャツ」・「スカート」上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

洋裁道具一式・筆記用具・生地(指定)

科目名	メイクアップ&ヘアスタイリング I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実技 80%
時間数	120	作成者	柴田弘子

【科目の到達目標】

シュウウエムラのカリキュラムによるメイクの基礎技術、基礎知識の習得。

【科目の概要】

近年、街中には同じようなヘアメイクが溢れています。その中で、スタイリングのイメージ、テーマにあったヘアメイクを創り、作品として残す。その為の技術を習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1.2	道具、用具、配布教材の説明	33.34 年代別メイク 50年代
	セルフスキンケアの方法	35.36 年代別メイク 60年代 後半
3.4	スキンケアレッスン	37.38 年代別メイク 70年代 前半
5.6	同上	39.40 年代別メイク 70年代 後半
7.8	実技テスト	41.42 外部イベント用ヘアメイク
9.10	スキンケア～ベース	43.44 外部イベント用ヘアメイク 本番
11.12	同上	45.46 AWTトレンドショーヘアメイク
13.14	スキンケア・アイメイクアップ	47.48 AWTトレンドショーヘアメイク
15.16	アイブロー	49.50.51 AWTトレンドショーヘアメイク リハ
17.18	リップ、チーク	52.53.54 AWTトレンドショーヘアメイク 本番
19.20	ヘアー	55.56 応用メイク
21.22	ヘアー	57.58 マップ制作+練習用ウイッグシャンプー
23.24	ゆかたスタイリング用メイク	59.60 テーマメイク技術テスト、ペーパーテスト
25.26	ゆかたスタイリング用メイク	
27.28.29.30	ゆかたスタイリングコンテスト 本番	
31.32	実技テスト	

【成績評価方法】

40%課題作品

40%試験

20%授業態度

【教科書・参考書】

【教材・教具】

シュウウエムラSCHOOLS

科目名	ファッションビジネス理論と演習	整理番号	
学科	ファッションビジネス	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識、マーケティングの基礎知識、スタイリストに必要なファッション知識を講義と演習により修得する。ファッション業界に必要なファッション用語や市場情報の収集・分析方法を習得し、クライアントに求められるスタイリストとしてのファッションビジネススキルを培う。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。
ファッション商品知識と日本と世界の年代別ファッションをマップ製作により学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	ファッションスペシャリストとは 自己マップ～梅田の街散策		31・32 百貨店とショッピングセンターⅡ ディスカッション
3・4	ファッションビジネスの定義と特性Ⅰ 自分マップ発表		33・34 百貨店とショッピングセンターⅢ プレゼンテーション
5・6	雑誌分解 雑誌分解プレゼンテーション		35・36 ファッション小売業の概要Ⅱ WWDトピック別ワーク 研究
7・8	消費者行動とファッション生活Ⅰ 地域紹介プレゼンテーション		37・38 キャリアワークⅠ
9・10	消費者行動とファッション生活Ⅱ オケージョンマップ		39・40 ファッション小売業の概要Ⅲ WWDトピック別ワーク プレゼンテーション
11・12	消費者行動とファッション生活Ⅲ オケージョンマッププレゼンテーション		41・42 ファッションビジネスの歩みⅠ 世界の年代別マップ
13・14	外部講師 特別講師授業		43・44 ファッションビジネスの歩みⅡ 世界の年代別マップ
15・16	消費者行動とファッション生活Ⅳ アイテムマップ		45・46 ファッションビジネスの歩みⅢ 世界の年代別マップ
17・18	繊維ファッション産業の流れⅠ アイテムマップ		47・48 キャリアワークⅠ
19・20	繊維ファッション産業の流れⅡ アイテムマップ		49・50 ファッションビジネスの歩みⅣ 世界の年代別マップ
21・22	繊維ファッション産業の流れⅢ アイテムマップ		51・52 終業テスト
23・24	ファッション消費と消費者行動Ⅰ アイテムマップ 解説		53・54 世界の年代別ファッション研究 ディスカッション
25・26	終業テスト アイテムマップ		55・56 世界の年代別ファッション研究 ディスカッション
27・28	ファッション小売業の概要Ⅰ アイテムマスターテスト		57・58 世界の年代別ファッション研究 プレゼンテーション練習
29・30	百貨店とショッピングセンターⅠ リサーチ		59・60 世界の年代別ファッション研究 プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題点 60% 修業テスト 30% 授業態度・小テスト 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・菅原正博・山本光子「ファッション・マーケティング」ファッション教育社
- ・ファッションビジネス学会・監督「ファッションビジネス用語辞典訂正版」文化出版局
- ・高村是州「スタイリングブック」グラフィック社 1993年4月4月25日発行

【教材・教具】

- ・ファッション雑誌 ・デザイン用具 ・ケント紙 ・A4ファイル ・B4ファイル

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	樂愛実

【科目の到達目標】

Microsoft Office、Googleソフトの基本操作を理解し、文書や資料作成、プレゼンテーション書類の作成ができる。
Adobe Illustrator、Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成ができ、撮影データをイメージ通りに加工できる。

【科目の概要】

IT社会に対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を習得する。
目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなすスキルを身に着ける。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	基本操作 I Gmail、クラスルーム、データ保存、ネットリテラシー		16 Adobe Illustrator I 前期振り返り、ツール、基本操作
2	基本操作 II Googleアプリ活用		17 Adobe Illustrator II 柄・パターン作成
3	基本操作 III Googleスプレッドシート		18 Adobe Illustrator III 柄・パターン作成
4	効果的なスライド作成 I Googleスライド、Microsoft Office PowerPoint		19 Adobe Illustrator IV 応用テクニック
5	効果的なスライドの作成 II Googleスライド、Microsoft Office PowerPoint		20 Adobe Illustrator V 応用テクニック
6	効果的なスライドの作成 III Googleスライド、Microsoft Office PowerPoint		21 小テスト まとめ、小テスト
7	スタイリング資料作成 Googleスライド		22 雑誌表紙 I Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
8	Adobe Photoshop I ツール、基本操作		23 雑誌表紙 II Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
9	Adobe Photoshop II 切り抜き		24 雑誌表紙 III Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
10	Adobe Photoshop III レタッチ、加工		25 雑誌表紙 IV Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
11	Adobe Photoshop IV レタッチ、加工		26 名刺作成 I Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
12	Adobe Photoshop V 背景合成		27 名刺作成 II Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
13	Adobe Photoshop VI 拡張子変換、小テスト		28 名刺作成 III Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
14	総復習		29 まとめ Googleアプリ/Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
15	前期末テスト		30 テスト

【成績評価方法】

課題点 60%
テスト 30%
平常点(授業態度) 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン・USBメモリー
アトリエコスモスSOHO情報局「すぐできるPhotoshop+Illustrator写真・壁紙・ロゴ デザイン」成美堂出版

科目名	服飾素材論 I		
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を習得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。
 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に習得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維—綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維—麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維—毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維—絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一「生地の事典」株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	カラーリング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	小西 祐司

【科目の到達目標】

ファッション商品にとって色彩は重要な要素である。この科目では色彩に関する知識を修得し、カラーコーディネート力を高めることを目標とするとともに、得た知識を活用して商品企画やビジュアル・マーチャンダイジングで実践し、プレゼンテーションできる力を養成する。

【科目の概要】

テキスト『デザインの色彩』や画像・映像等の資料を使用して色彩の基本について講義と演習を行なう。またガッシュやカラーカードを活用した配色の実習をとおして色彩の知識を深める。

【授業計画】

90分/コマ

1	「ファッションと色彩」概説	・用具の説明 ・ファッションと流行色
2	三原色からの色作り	・ガッシュを用いて
3	配色演習 色相対比	
4	色の三属性とトーン 「色を拾う」演習(1)	・色の見える仕組み、色相環
5	「色を拾う」演習(2)	・エディトリアルデザインの色彩
6	映像に見る色彩(1)	
7	映像に見る色彩(2) 配色演習(2)	・補色 + α カラーカードを用いて
8	カラーコーディネート演習(1)	・ガッシュを用いて
9	カラーコーディネート演習(2)	・ガッシュを用いて
10	配色演習	・絵画に見る色彩
11	配色演習	・絵画に見る色彩
12	「ファッションと色彩」(1)	流行色 1960年代～2000年
13	「ファッションと色彩」(2)	流行色 今後の展望
14	色彩理論 「色彩と心理」	
15	試験	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

中田満雄 北島耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所「デザインの色彩」日本色研事業株式会社
WWDジャパン「WWD JAPAN」

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)雑巾、ケント紙、配色カード(199色)
30センチ定規、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

科目名	ファッション史 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

国の文化の違い、美術、建築、音楽、映画など文化的関連性を学び、ブランド、デザイナー、トレンド、時代背景を知る。ファッションの現代史を理解した上で販売・企画のできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

1918年以降のパリモードとラグジュアリーブランドの誕生、現代のトレンドまでを様々なつながりから理解し、これからも続くファッション変化を予測できる基礎ファッション史知識習得を目指す。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 映画とファッション史
- 2 音楽とファッション史①
- 3 音楽とファッション史②
- 4 音楽とファッション史③
- 5 ブランドの誕生から現代①
- 6 ブランドの誕生から現代②
- 7 ブランドの誕生から現代③
- 8 ブランドの誕生から現代④
- 9 時代のアイコンとファッション史
- 10 時代のアイコンとファッション史
- 11 ジェンダーの変化で知るファッション史
- 12 戦争と平和で知るファッション史
- 13 ファッション消費の歴史
- 14 スポーツとファッション史
- 15 修業試験

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

「20世紀からのファッション史: リバイバルとリスタイル」横田尚美・原書房
「ストリート・トラッド: メンズファッションは温故知新」佐藤誠二郎・集英社
「ザ・ストリートスタイル」高村是州・グラフィック社
「世界服飾大図鑑」DK社・河出書房新社

科目名	西洋美術史&デザイン史	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

西洋美術史を学ぶことによって、国々の歴史・風土・民族・宗教や考え方を知り、日本との違いを把握できるようになる。そのうえで、ファッションビジネス界に対応出来る人としての基礎的教養の基盤形成を目標とする。

【科目の概要】

紀元前より1900年代まで、歴史の変遷と造形様式、代表的な作品や作家を通じて時代精神を読み取る。また宗教、気候、民族を踏まえながら、その作品の成立意義を知るように授業は進行する最終的にはアーツ&クラフツ周辺のイギリスと、アールヌーボーや耽美主義に至り、メディアとしてのデザインを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期
1	西洋美術史を学ぶにあたって
2	原始美術・メソポタミア・エジプト
3	クレタ・ギリシャ美術
4	ローマ帝国とビザンティン美術
5	中世美術とロマネスク
6	ゴシック美術と初期ルネサンス
7	北方美術と盛期ルネサンス美術
8	マニエリズムとバロック美術Ⅰ
9	バロック美術Ⅱとロココ美術
10	フランス革命と主義の時代へ
11	ビクトリア朝とそのアート及びデザイン概念の黎明
12	印象主義以降
13	アーツ アンド クラフツとアールヌーボー
14	宣伝媒体のデザイン
15	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
短文による理解度の評価

【教科書・参考書】

「西洋美術史」高階秀爾 美術出版社 2002年度版、各時代の関連プリントの配布

【教材・教具】

筆記用具、ノート、作文用紙